

令和7年度 第3回 学校運営協議会

1. 日時 令和7年12月9日(水) 9:30~11:00

2. 出席者

(1) 学校運営協議会委員

【委員①】元特別支援学校校長(地域コーディネーター)

【委員②】浜松市中障害者相談支援センター所長

【委員③】浜松市役所社会福祉課課長

【委員④】自治会 地域防災担当(地域コーディネーター)

【委員⑤】本校卒業生保護者

(2) 校内教職員

校長 副校長 事務長 幼稚部主事 小学部主事 中学部主事 支援部主任 教務主任

3. 会議次第

(1) 校長挨拶

(2) 協議

(3) 校長挨拶

4. 協議等記録

○校長より

デフリンピックが閉幕した。本校卒業生が女子サッカーで出場し、全校でテレビ中継を見て応援した。銀メダルを獲得した後、来校して結果報告・メダル披露をしてくださった。

今後、子どもの数の減少が予想される。選ばれる学校になるためにできることを考えていきたい。少人数を強みに。①地域とのつながりを増やし、地域の方とともに学ぶ。②地域で暮らす難聴児が増えている。そういう子たちにできることを増やす。それぞれの立場で、みなさんで考えたい。

○協議事項

<地域社会とつながる学校>

① 実践報告

幼稚部

葵幼稚園との交流を行った。招待されて参加するだけでなく、今回はこちらからもお店を準備した。こばと幼稚園とは6回、上島幼稚園とは1回交流を行った。地域では、買い物学習や、芝生広場でおにごっこやどんぐりひろいを行い、地域の方にやさしく見守っていただいている。もちつきの会は地域自治会の方に事前学習から参加していただく予定。お正月遊びもぜひ教えていただきたい。

オンラインは実態的にまだ難しい。

小学部

学校間交流は、なかよし交流を年間2回実施。学年集会で自己紹介やレクリエーションを行い、大集団の中での経験を将来につなげていきたい。継続することの重要性を感じている。ユニクロの子供服プロジェクトは、上島小にも協力依頼し、段ボール6箱分集まった。

今年はマラソン記録会も四ツ池公園で実施予定。オンラインでの3鬮発表会ではデフリンピックについて調べたことを発表し合った。今後もつながっていけるといい。修学旅行も一部静聴と一緒に活動した。今後も事前事後をオンラインで行い、一緒に活動したい。

中学部

学校間交流は、高台中学校との部活交流を実施。高台中の生徒も積極的に指文字や手話を活用しようとする姿が見られる。今年度の実施は1回のみ。もっと回数を増やせるといい。

地域のハザードマップ作りを行った。避難地の萩丘小学校までのマップを作ったので、災害時に活用できるようにしたい。少人数化する来年は、地域でできる活動に移行していきたい。かつては地域のゲートボール大会に参加したという事例もある。

② 課題の共有

- 学校所在地域に本校のことがあまり知られていない。かかわりが少ない。
- 発信力不足
- 教職員数の減少が見込まれる。学校を取り巻く問題の複雑化、困難化。働き方改革。
- 校内だけではない深い学び、本物体験、協働活動の充実→地域資源の発掘
→児童生徒が地域に貢献したり、地域の方と共に活動したりする機会をつくりたい。

③ グループ協議

Aグループ

<学校の認知度をあげるために>

- 情報発信の大切さ：若い世代が活用するインスタグラムなどのSNSを使ってまめに情報を更新
- 作品展示：ショッピングセンター、金融機関に作品展示
- 地域参加：公園や道路などの清掃活動、防災訓練への参加
- 行政の利用：手話イベントなどへの参加、ブースを開く

Bグループ

<地域資源を活用した学習を広げ深めるために>

- 地域の方の力を活用：プログラミング教室、けんだまなどの遊び、古墳がある…
- 情報収集：回覧板、HP、SNS
- 学校サポーターの活用：社会と協働する中でよりよい社会を目指す

○校長より

今後、地域とどうつながっていくか。それぞれの立場からアイデアをたくさんいただいた。実践できることからはじめていきたい。2月の協議会で報告できるように進めたい。